

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

新潟県

行事名称	第70回文化財防火デー 歴史民俗産業資料館（国登録有形文化財）防災訓練
実施期間・日時	令和6年1月22日（月）13:30～14:00
実施場所	歴史民俗産業資料館（新潟県三条市本町3丁目1-4）
主催者	歴史民俗産業資料館・三条市消防本部・三条市市民部生涯学習課

■実施内容

訓練の想定

給湯室から出火し、消火器にて初期消火を試みるが失敗。建物全体への延焼の恐れがあると想定

訓練の内容

事務室で火災報知機の発報音により異常に気付き、受信機で出火場所を給湯室と確認する。現場へ行くと煙を発見。消火器による初期消火、来館者の避難誘導、119番通報、重要品（模擬）の搬出訓練後、消防署による放水訓練を実施。その後、消防本部職員の指導のもと参加者による初期消火訓練を実施

参加者及び役割分担

歴史民俗産業資料館職員（1人）：初期消火、来客の避難誘導、重要品の搬出

歴史民俗産業資料館職員（1人）：消防への通知、来客の避難誘導

歴史民俗産業資料館館長・職員、市内文化財所有者、生涯学習課職員（5人）：来客役

三条市消防本部（7人）：全体総括、放水訓練、講評

三条市市民部生涯学習課職員（3人）：記録、全体の進行など

特に工夫した点

- ・事務室の火災報知機の発報音で異常に気付き、受信機で出火場所を確認する実際の火災に近い想定で行った。
- ・資料館職員は、火災に気付いたら大きな声で知らせ、手分けをして来館者を避難させた。
- ・初期消火訓練は資料館職員だけではなく、市内文化財所有者にも体験してもらった。
- ・地元新聞などに取材いただいたり、SNSでも発信し、活動を広く周知した。

問題点・課題

重要品の持ち出しについて、具体的な計画がされていない点が課題である。

その他

文化財防火デーにあわせて活動を行うことで、文化財の所有者や市民の防災意識の醸成を図るとともに、火災が起こった際の対処法などを学ぶ良い機会となっている。今後も継続して実施し、防災意識を高めていきたい。

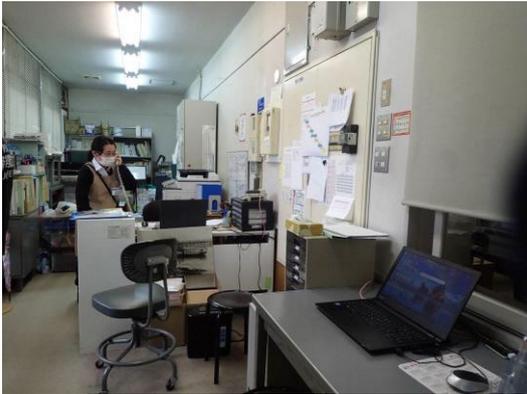
訓練風景



火災報知機の受信機で出火場所を確認



出火場所に向かい初期消火へ



初期消火の一方で119番へ通報



初期消火に失敗し来館者を避難誘導



避難誘導後重要品の持ち出し



消防に避難者と重要品の持ち出しの報告



消防による放水



初期消火訓練